

3. 肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨
4. 受診状況の確認、再指導、保健指導、保険対応、治療内容の説明
5. 医療費助成制度、医療機関、相談センター、肝臓病教室、患者サロン、患者会等の紹介

さらに、身近な地域や職域で「肝疾患コーディネーター」が活動することにより、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成され、肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待されます。神奈川県は5年間で500人のコーディネーターを養成することを予定しています。「肝疾患コーディネーター」になるには、セミナーを受講し、試験に合格する必要があります。試験に合格すると神奈川県知事から「かながわ肝疾患コーディネーター認定証」が授与されます。当院でも看護師、薬剤師、検査技師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、メディカルセクレタリー、事務など、多くの方々が「肝疾患コーディネーター」に認定されています（下写真）。現在、神奈川県は「肝疾患コーディネーター」のバッジを作成しており、近い将来、バッジにより誰がコーディネーターなのかわかるようになる予定です。

肝疾患医療センターでは、コーディネーターとともに肝疾患を持つ患者さんの支えとなれるよう努力していきます。肝疾患に関して疑問やわからないことがありましたら、何時でもご相談下さい。



《著者紹介》

加川 建弘（かがわ たてひろ）



東海大学医学部消化器内科教授

肝疾患医療センター長

1961年生 奈良県出身

1986年 慶應義塾大学医学部卒

1999年～2001年アメリカ タフツ大学留学

日本内科学会総合内科専門医 指導医、日本消化器病学会評議員 専門医
指導医、日本肝臓学会評議員 専門医 指導医、日本消化器内視鏡学会専門医
指導医、神奈川肝炎対策協議会委員、神奈川県肝疾患審査会委員

